

深刻な経済不況のなか 生命と暮らしを守る活動を展開

50人を超す生活困窮者を支援

職を失い、金がない、住む所がないなど切羽詰った相談が相次いでいます。労組・市民団体や日本共産党も入った「市民なんでも相談ネットワーク」と党市議団が連携し取り組んできました。生活保護の申請や住居の確保など市の協力も得て、昨年1年で50人を超す方々に手をさしのべてきました。

中小企業不況対策資金融資制度を実施

厳しい経済状況で苦しむ中小企業の営業と暮らしを支援するため、市は融資を受ける際に必要な保証料を100%補助する「中小企業不況対策資金融資制度」を実施しました。日本共産党は議会で融資制度の改善を求めていました。

子ども医療費を小学校3年生まで拡充

現在未就学時までとなっている子ども医療費の通院分の無料化を、来年度から小学校3年生まで拡充します。

小規模工事登録制度、契約件数は県内トップ

小規模修理修繕契約希望者登録は、市に入札参加登録していない市内の中小零細業者で小規模な修理・修繕で50万円以下、工事では130万円以下が対象です。20年度の実績は川越市が851件で県内トップとなっています。これまで日本共産党は議会で同制度の拡充を繰り返して指摘してきました。

新年おめでとうございませう



今年も昨年引き続き派遣切りなどで仕事と住居を奪われた労働者約900人が国・東京都が用意した公設派遣村に詰めかけました。川越でも昨年度に労働組合や弁護士、民主体や日本共産党議員団も入って川越西口自由広場でなんでも相談会を実施し50人を超える相談がありました。私の昨年の議会質問は、失業や病気など生活に困っている人に対する総合支援窓口の開設と各課の連携・支援体制の強化を求めました。国も重い腰をあげ緊急雇用対策を実施していま

近頃の要望・相談が寄せられました。どうしたら要望や相談が解決できるか、相手の身になってひとつ一つ丁寧に相談にこたえることを心がけ、みなさんの苦難解決と幸せのためにがんばります。

今年もみなさんと力を合わせてがんばります 日本共産党川越市議会議員団



佐藤けいし 本山修一 川口ともこ かきた有一



す。今年こそ派遣法の抜本改正で人間らしく働けるよう雇用のルールをつくること、市でも様々な就労・生活支援をおこなう誰かが川越に暮らして良かったと思えるよう幅広い人たちと力をあわせてたいと決意を新たにしています。

みなさんの幸せのためにがんばる

昨年是一年間で80件

伊佐沼公園に10基の遊具が3月末に出来ます



ジグザグネット



ドキドキ丸太橋

夏にはじゃぶじゃぶ池やバーベキューでにぎわう伊佐沼冒険の森。アスレチックの老朽化で改修を急ぐようみなさんの声を議会で届けこの春実現します。



昨年末オープンした河越館跡史跡公園
中央を横切る堀跡、右奥に井戸跡が見える



党市委員会と議員団で市長に予算要望

暮らし、福祉、教育の充実を

日本共産党川越市委員会・市議団が来年度予算で川合市長に要望しました。

予算編成では、厳しい経済状況で苦しむ市民や中小零細業者をしっかりと守る立場で市政運営をおこなうよに要請しました。



資源化センタープラント内部を視察

日本共産党 12月市議会報告 2010年1月 市議会議員 川口ともこ

お気軽に相談下さい
連絡は市役所又は急ぎの方は携帯電話へ
090-9833-0288

発行：日本共産党議員団
連絡先：川越市役所日本共産党議員団控室
電話：224-8811 内線3636
ホームページ：http://www.jcp-kawagoe.jp/